

令和5年度

林業イノベーション 現場実装シンポジウム

～地域から林業の未来を創造しよう～

林業の安全性や生産性を向上し、より魅力ある産業として発展させるためには、林業の特性を踏まえた新技術の開発・実用化を進め、林業現場への導入を加速する「林業イノベーション」が必要です。本シンポジウムは、林業イノベーションを促進するため、各地域における取組や最新の技術開発の動向を紹介するとともに、関係者の交流の場を提供します。



開催日

令和6年 2月8日(木)
2月9日(金)

会場

木材会館 7階大ホール
6階小ホール
(東京都江東区新木場1-18-8)

プログラム

2月8日(木)

第1部 森ハブ事業報告
・デジタル林業戦略拠点構築推進
事業報告
・パネルディスカッション

森ハブ・プラットフォーム会員限定

第2部 森ハブ・プラットフォームマッチングミ
ーティング

2月9日(金)

第1部 「新しい林業」の実践に向けた取組み
・基調講演
・実証事業報告

第2部 林業機械開発の最新情報
・開発・実証事業成果報告

詳細は裏面をご覧ください

※プログラムの内容は、後日アーカイブ(動画)配信します。
ただし、2月8日の第2部については、アーカイブ(動画)配信も会員限定です。

参加費無料 【申込期限：令和6年1月31日(水)】

イベント参加の申込みは、申込
フォームより行ってください。

申込フォームはこちら
<https://forms.office.com/e/dXzCY49ZpVn>



※応募状況を踏まえ、参加人数を調整させていただく可能性がございます。

2月8日の第2部へ参加する方
は、森ハブ・プラットフォームの会員
登録が必要です。

会員登録フォームはこちら
<https://forms.office.com/e/tYXlImamTAm>



申込方法

<主催> 林野庁・一般社団法人 林業機械化協会

<お問い合わせ先> 2月8日について



2月9日について

一般社団法人
林業機械化協会

森ハブ事務局：有限責任監査法人トーマツ

E-mail: mori-hub-pf@tohmatu.co.jp

一般社団法人 林業機械化協会

E-mail: www-admin@rinkikyo.or.jp

森ハブ・プラットフォームの
詳細はこちら(林野庁HP)



プログラム

2月8日（木） 大ホール・小ホール

第1部 10:00～12:30 森ハブ事業報告

開会あいさつ

林野庁

森ハブ事業報告

トーマツほか

デジタル林業戦略拠点構築
推進事業報告

ハーベスタの生産データを活用したICT生産管理
：スマート林業EZOモデル構築協議会
需要と供給が一体となって進めるマッチングシステムの構築
：静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム
新たな木材生産流通につながるSCMシステムの構築
：鳥取県デジタル林業コンソーシアム

パネルディスカッション

～森ハブ・プラットフォームのこれまで
を振り返り、今後の活動を展望
する～

モデレーター：筑波大学 准教授 立花 敏
パネリスト：事業構想大学院大学 特任教授 見山 謙一郎
柴田産業 代表取締役 柴田 君也
森林総合研究所 収穫システム研究室長 中澤 昌彦
コメンテータ：林野庁 研究指導課長 安高 志穂

第2部 13:30～17:00 森ハブ・プラットフォーム マッチングミーティング

会員限定

林業現場の課題解決に役立つ
最新技術のプレゼンテーション

森ハブ・プラットフォーム会員が、林業現場の課題解決に資する製品・サービス等を提案します。対象は、①森林調査・伐採・造林計画、②境界画定、③素材生産、④造林・保育の4分野です。

個別相談・情報交換会

上記4分野のプレゼン登壇者との個別相談ブースや、会員同士が自由に入出入りして情報交換するために分野別ブース（木材流通、通信等も含む）を設けます。

2月9日（金） 大ホール

第1部 10:00～12:30 「新しい林業」の実践に向けた取組み

開会あいさつ

林業機械化協会

基調講演

林業機械の未来と林業の将来
：森林総合研究所 研究ディレクター 宇都木 玄
世界標準に向けた素材生産の機械化とその方向
：日本木材輸出振興協会 会長 山田 壽夫

「新しい林業」経営モデル
実証事業報告

北欧をモデルにした北海道・十勝型機械化林業経営
：大坂林業、渡邊組、サンエイ緑化
川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業
：北信州森林組合
森林管理組織「リフォレながと」を核とした長門型林業経営モデル構築事業
：リフォレながと

総括

林野庁 林業労働・経営対策室長 岡村 篤憲

第2部 13:30～16:30 林業機械開発の最新情報

林業機械の自動化・遠隔操作
化に向けた開発・実証事業
成果報告

立体視映像装置・シンクロ式アシストウインチを備えたラジコン式伐倒作業車の開発・実証
：松本システムエンジニアリング
日本版ウインチアシストシステムの事業規模での実証と改良
：住友林業、日本キャタピラー、天女山
集材・運材作業の自動化に向けた先端技術を活用したフォワードの開発・実証
：諸岡、パナソニックアドバンステクノロジー、森林総合研究所、
東京農工大学、国際電気通信基礎技術研究所
AIを活用した集材・造材マルチワークシステムの実証
：イワフジ工業、中井林業
通信型下刈機械の遠隔自動運転・運行監視システムの開発・実証
：NTTドコモ、筑水キャニコム、阿蘇森林組合

総括

林野庁 技術開発推進室長 増田 義昭